

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3			事業名	合流式下水道の改善事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
吐口対策実施済数(累計)	6カ所	13カ所	17カ所	21カ所	23カ所	22カ所	
豊平川貯留管の整備進捗率	—	—	1%	1%	21%	35%	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 下水道事業パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用等により、下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、合流式下水道の改善事業についても公表している。また、下水道モニター制度、市営企業調査審議会等により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)			課題				
<p>豊平川雨水貯留管については、合流式下水道の改善だけではなく、浸水対策としても有効に活用できる施設として工事に着手できた。 また、吐口対策については、ほぼ予定通りに事業を実施することができた。</p>			<p>合流式下水道の改善については、豊平川処理区及び新川処理区のほか手稲処理区で対策を進めるが、整備には多額の費用を要することから、より効率的な技術について調査・検討が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>豊平川雨水貯留管について26年度の完成を目指すとともに、吐口対策についても、より経済的な方法である渦流式水面制御装置を適用可能な箇所に導入していくなど、引き続き合流式下水道の改善事業を進めていく。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-1-3			事業名	合流式下水道の改善事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	252,000	129,000	449,000	1,152,000	1,982,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	80,000	53,000	179,000	461,000	773,000				
	市の債	163,000	69,000	247,000	633,000	1,112,000				
予算	事業費	252,000	201,617	447,447	1,087,890	1,988,954				
	財源内訳									
	国・道支出金	80,000	56,631	177,710	468,465	782,806				
	市の債	163,000	131,552	228,217	554,149	1,076,918				
実績	事業費	278,409	171,700	128,117	769,459	1,347,685				
	財源内訳									
	国・道支出金	101,000	67,908	43,122	354,927	566,957				
	市の債	153,116	86,398	67,449	379,903	686,866				
	その他の他	9,000	7,000	23,000	58,000	97,000				
	一般財源	0	0	0	0	0				
	一般財源	0	0	0	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					68.0%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]《全体》 平成20年3月に合流式下水道における改善対策の早期推進のため、「札幌市合流式下水道緊急改善計画」を変更し、合流式雨水吐口のスクリーン施設の設置(全体計画 58カ所)については、当初計画より前倒しすることとした。										
[21年度] 豊平川雨水貯留管に関する地元住民への説明会に期間を要したため、工事発注が当初より遅れ差異が生じた。										
[22年度] 豊平川貯留管に関する工事の落札率が低かったため差異が生じた。										